

平成17年度事業報告書

自 平成17年4月 1日

至 平成18年3月31日

一般情勢と倶楽部活動の概要

平成17年度の日本経済は、原油価格高騰等の懸念要因はあったものの、企業業績の好調及びこれを背景とした雇用、所得環境の改善による個人消費の回復など民需を中心とした景気回復が緩やかに進展し、製造業はその牽引役としての役割を果たしました。

こうした状況の中で、平成17年度の特種鋼生産（熱間圧延鋼材ベース）は、鉄スクラップ、合金等の原材料急騰による生産への影響が懸念されましたが、旺盛な需要に支えられた高水準な生産が続き、前年度比1.9%増の2,038万tと初の2,000万t台となり、過去最高を記録しました。

国内向けは、自動車は新型車等投入による国内販売の強化や、海外日系自動車メーカーの生産増により完成車は高い水準を維持し、海外生産拡大に伴いKDセット輸出も増加し、また旺盛な民間設備投資を背景として産業機械、電気機械等も好調に推移したこと等により、前年度比5.7%増の1,496万tと2年連続の過去最高記録を更新し、1,400万t台を維持しました。

一方、輸出向けは、米国、中国をはじめ世界的に景気は堅調に推移し、需要も拡大基調にありましたが、旺盛な国内需要への供給体制を優先したこと等により、前年度比7.3%減少の542万tとなりました。

また、特種鋼の輸入鋼材は、国内生産の増強を受け材料不足が解消しつつあることから、年度後半に入って落ち着きを見せ始め、前年度比19.6%減の26万tとなり、輸入量の約7割を占めるステンレス鋼ではこの状況が顕著に表れました。

17年度の倶楽部活動は、前年度に引続き15年度の合理化答申を踏まえ、事業の選択と集中により経費節減を図り、更なる会員サービスの充実を押し進めるとともに業界を巡る国内外の諸問題に迅速に対応し、その解決に努めて参りました。また、輸出保険包括保険の業務処理も行いました。

更に、隔月に発行している広報誌「特種鋼」には毎号、タイムリーな特集記事を掲載して、特種鋼のPRに努めました。

社団法人 特殊鋼倶楽部活動

自 平成17年4月 1日

至 平成18年3月31日

I. 専門委員会、部会、分科会

1. 総合委員会

委員会、グリーン調達問題WGは開催しなかった。

グリーン調達問題WGでは、平成13年を最後に(社)日本鉄鋼連盟において「鉄鋼製品は全てグリーンである」として、環境省への特定調達品目を申請しないことで合意し、一応の結論をとりまとめ、当WGもこの結果を確認して以降、活動はしていなかったが、最近になって鉄鋼関連周辺の需要分野でこの問題に関連した動きがあったので、情報提供した。

2. 海外委員会

委員会を1回、専門部会を1回、商社分科会を1回、中国ADサンセット会議を5回開催した。

なお、第86回定例理事会において、商社分科会分科会長として逆井 猛氏(株)メタルワン線材・特殊鋼部長)が承認された。

- 1) 国際鉄鋼貿易問題及び中国関係情報、米国特殊鋼会社収益状況等の収集、配布等の業務処理にあたった。
- 2) 中国のステンレス冷延鋼板ADサンセット・レビューの調査が4月に開始されたことに伴い、日本側各社との情報交換、輸出実績集計、弁護士への対応等、業務処理にあたった。
- 3) 『貿易一般保険・包括保険』の保険契約者として、平成17年度について、4月1日付けで独立行政法人日本貿易保険との間に包括保険の特約を締結し、前年度に引続き保険の受付、申込み、保険料の収納、保険引き受け方針等通達の業務処理にあたった。
 - ・平成19年4月からの実施を目指している「組合包括保険(消費財)」の制度改正について、独立行政法人日本貿易保険から講師を招いて、(社)日本鉄鋼連盟、線材製品協会との共催で説明会を開催した。
 - ・(社)日本鉄鋼連盟が「貿易一般保険・包括保険」の改正に合わせて、特殊鋼包括保険の付保率を40%から30%に引き下げ30%に一本化する内容の要望書を、3団体連盟で日本貿易保険に提出することについて、アンケート調査を実施した。

3. 市場開拓調査委員会

委員会を1回、講演会WGを1回、調査WGを4回開催した。

なお、第87回定例理事会において、市場開拓調査委員会委員長として桐山哲夫氏（山陽特殊製鋼㈱常務取締役東京支社長）が承認された。

- 1) 講演会WGは、鉄スクラップ、合金等の原材料が需給タイト、価格高騰にある中で、原材料の調達確保と特殊鋼の安定供給が重要課題として注目されていることから、下記の講演会を開催し好評を得た。

日 程 平成18年2月8日（聴講者60名）

演 題 「製鋼原料の需給動向」

講 師 三井物産株式会社 鉄鋼原料・非鉄金属本部製鋼原料部次長 高島 均 氏

- 2) 調査WGは、下記の通り活動した。

- ①需要家の海外生産への移行に伴う国内空洞化による特殊鋼への影響が懸念された平成6年度に、その実態を把握すべく「特殊鋼の需要構造の動向」と題して需要産業9業種について調査を実施したが、今年度はその2回目の調査を実施し、また新たに金型産業を加え、「平成17年度・特殊鋼の需要構造の動向」として1冊の調査報告書にまとめた。

- ②平成16年度調査結果報告書の説明会は、下記の通り実施し好評を得た。

日 程 平成17年5月23日 東 京地区（聴講者80名）

6月23日 大 阪地区（聴講者70名）

6月24日 名古屋地区（聴講者71名）

演 題 「自動車部品の現地調達と輸出における特殊鋼の使用動向調査」

講 師 株式会社日鉄技術情報センター 市場調査部長 渡邊泰雄 氏

- ③(社)日本鉄鋼連盟で検討している輸入統計品目コードの改正要望について報告し、今後当倶楽部として意見等があれば、(社)日本鉄鋼連盟、経済産業省に要望していくことを了承した。

- ④経済産業省製造産業局鉄鋼課より同省経済産業政策局調査統計部で毎月実施、報告している指定統計「鉄鋼生産動態統計」の内、特殊鋼熱間圧延鋼材生産等の『ステンレス鋼』、『耐熱鋼』について、国際ステンレス協会（I S S F）に準拠した鋼種分類に改正し、平成19年1月分調査からの実施を目指していることにつき検討方の依頼があり、アンケート調査の結果、今回の改正のステンレス鋼の成分区分を広げ、耐熱鋼及び高マンガン鋼を廃止し、新設する「その他特殊用途鋼」に一括する改正案について了承した。

4. 編 集 委 員 会

委員会を6回、特集ごとの小委員会を6回開催し、編集内容を検討した。毎号タイムリーな特集テーマ(内容は8頁参照)を取り上げ、解りやすい内容で好評を博した。

5. 人材確保育成委員会

委員会を1回開催し、研修講座のテーマ、開催方法等について検討した。社員育成事業の一環として、ビジネスマンの日常の営業活動を通じた営業力強化を図ることを目的に「平成17年度ビジネスマン能力向上研修講座」を開講し、53名参加のもと好評を得た。

なお、第86回定例理事会において、人材確保育成委員会委員長として江藤 浩氏(日本高周波鋼業(株)常務取締役工具鋼本部長)が承認された。

日 程 平成18年2月21日・22日 ((社)全日本特殊鋼流通協会との共催)

テーマ 「営業マン実践課題解決力強化研修」

講 師 株式会社日鉄技術情報センター インストラクター 尾田友志 氏

6. 流 通 委 員 会

四半期特殊鋼需要見通し説明会を開催し、次期経営指針の参考に寄与した。

1) 商 社 部 会

構造用鋼分科会にオブザーバーとして出席し、分科会活動に協力した。

2) 3 分 科 会

工具鋼分科会の幹事会を11回、構造用鋼分科会の幹事会を11回、ステンレス棒鋼分科会の幹事会を11回開催し、特殊鋼流通の円滑化、取引条件改善のための情報交換と懇談活動を行った。

なお、第86回定例理事会において、工具鋼分科会分科会長として兵頭真人氏(大同マテックス(株)常務取締役)、構造用鋼分科会分科会長として伊藤弘文氏(藤田商事(株)取締役鉄鋼第一部長)が承認された。

3) 鋼種別分科会(部会)三地区意見交換会

当意見交換会を平成18年3月23日に東京で開催し、東京、名古屋、大阪の各地区における各分科会長より直近の需給動向、トピックス等を報告し、三地区間相互の意見交換、情報交換を行い、その結果を今後の分科会活動に反映させ、充実化を図った。

4) 特殊鋼需要見通しに関する説明会（日程、テーマ及び講師）

「平成17年度第2・四半期の特殊鋼需要見通し」

日 程 平成17年6月30日 東 京地区（聴講者30名）

講 師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 梅田英幸 氏

「平成17年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」

日 程 平成17年9月29日 東 京地区（聴講者30名）

30日 名古屋地区（聴講者42名）

講 師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐生産班長 鈴木謙二郎 氏（東 京地区）

経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 梅田英幸 氏（名古屋地区）

「平成17年度第4・四半期の特殊鋼需要見通し」

日 程 平成17年12月27日 東 京地区（聴講者25名）

講 師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐生産班長 鈴木謙二郎 氏

「平成18年度第1・四半期の特殊鋼需要見通し」

日 程 平成18年3月30日 東 京地区（聴講者40名）

31日 大 阪地区（聴講者45名）

講 師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐生産班長 鈴木謙二郎 氏（東 京地区）

経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 梅田英幸 氏（大 阪地区）

7. 流通海外展開委員会

委員会は開催しなかった。これまでと同様、高い経済発展を続ける中国市場について、その実態を調査するための中国ミッションの実施に向けた検討と調整を継続した。

II. 年 度 見 通 し

1. 平成18年度特殊鋼業の見通し

正副会長にメーカー、総合商社、問屋の代表9名、合計13名よりの「平成18年度特殊鋼業の見通しのコメント」をとりまとめた。

平成18年度特殊鋼熱間圧延鋼材生産見通し（17年度経済産業省鉄鋼課需要見通しに日本自動車工業会18暦年自動車需要見通しを乗じたもの）は、同年度見掛け内需を前年度比1.0%増の1,544万tと見込み、輸入鋼材を26万tとみて、国内向け生産は同比1.0%増の1,518万t、輸出向け生産は同比0.7%増の533万t、合計で0.9%増の2,051万tとなり、2年連続の2,000万t

台を維持し、過去最高記録を更新する生産見通しとした。コメントの主な内容は、以下の通りであった。

特殊鋼鋼材の生産は、17年度は国内向けでは自動車为中国など新興国での市場拡大、環境技術に優れる日系メーカーの海外シェア拡大等によりKDセット輸出が伸び、堅調な国内生産全体の下支えとなり、また製造業における設備投資の活発化により産業機械も好調に推移したこと等により、順調に増加した。一方、輸出向けは内需優先の供給、販売価格重視による受注、また中国、韓国などアジア市場での在庫調整の長期化などにより、大幅な減少となった。

これに対して、18年度は各需要分野で前年度を上回る高水準が予想され、自動車は国内販売が前年度並みとなるものの、海外市場拡大によるKDセット輸出の大幅増で全体では高水準を継続、電気機械ではIT、デジタル家電、半導体等関連産業、産業機械では自動車関連産業において活発な設備投資が見込まれる。

特殊鋼業界の課題として、更なる需要増に対応した供給能力を確保するための生産性向上、また特殊鋼需要が中国を中心としたアジア圏へ拡大する中、海外現地では生産できない高機能、高品質の素材を生産し、国際競争力を高めていくことなどが必要であり、そのための設備投資、研究開発を継続できるだけの収益基盤が不可欠で、再生産、再投資が可能な製品価値に見合った価格水準を確保する必要がある。

Ⅲ. そ の 他 事 業

1. 講演会

内外の景気展望、特殊鋼需要産業の動向などについての講演会を下記の通り開催し、会員会社から多数の出席を頂いた。

1) 「平成17年度経済財政報告の解説」

日 程 平成17年10月27日 東 京地区（聴講者30名）

講 師 内閣府 政策統括官（経済財政分析担当）付参事官補佐 多田洋介 氏

2) 「平成18年度の自動車工業の見通し」

日 程 平成18年4月 6日 東 京地区（聴講者60名）（17年度事業）

5月24日 大 阪地区（聴講者74名）

講 師 社団法人日本自動車工業会 調整担当次長 矢野義博 氏

2. 工場見学会

特殊鋼商品知識の啓蒙普及事業の一環として、特殊鋼関連の工場見学会を下記の通り実施し、多数の参加者をもって好評を博した。

日 程 平成17年12月1日（参加者56名）

見学先 住友重機械工業株式会社 千葉製造所

射出成形機の製造工程とテクニカルセンターの見学

3. 経済産業省・鉄鋼課所管の承認統計・特殊鋼鋼材需給月報（鉄鋼需給動態統計調査）

経済産業省・鉄鋼課より、平成14年1月分調査から特殊鋼鋼材需給月報（鉄鋼需給動態統計調査）統計調査作業を受託し、引続き調査票の回収・督促・集計業務を行い、同課へ集計結果を報告した。

本調査結果は、経済産業省から毎月発行される「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計月報」に掲載された。

IV. 交 流 活 動

1. 平成18年新年賀詞交換会

1) 東 京（平成18年1月5日）

当倶楽部の新年賀詞交換会として、業界関係者約800名参集のもと、10時00分より小澤会長の挨拶の後、来賓を代表して石毛博行経済産業省製造産業局長よりご挨拶を頂き、武田副会長の音頭で乾杯があり、盛会裡に行われた。

2) 大 阪 支 部（平成18年1月5日）

(社)全日本特殊鋼流通協会大阪支部、大阪ステンレス流通協会との合同新年賀詞交換会として、業界関係者約800名参集のもと、11時30分より森大阪ステンレス流通協会理事長の挨拶の後、藪木当倶楽部大阪支部長の音頭で乾杯があり、盛会裡に行われた。

3) 名 古 屋 支 部（平成18年1月10日）

(社)全日本特殊鋼流通協会名古屋支部、名古屋ステンレス流通協会との合同新年賀詞交換会として、業界関係者約390名参集のもと、18時00分より林名古屋ステンレス流通協会理事長の挨拶の後、田島(社)全日本特殊鋼流通協会名古屋支部長の音頭で乾杯があり、盛会裡に行われた。

V. 出 版 広 報 活 動

1. 広報誌「特殊鋼」の発行

広報誌「特殊鋼」を6回発行した。特に特殊鋼販売の第一線の社員を対象にした下記特集により、特殊鋼の幅広い啓蒙活動を行った。また、特殊鋼業界及び関連業界情報、統計資料、倶楽部活動報告などを掲載し、多大の好評を博した。

<平成17年度「特殊鋼」特集記事>

平成17年	5月号	デジタル家電と特殊鋼
	7月号	ここまでの分析・解析技術
	9月号	ばねの動向と材料
	11月号	最近の特殊鋼原料事情
平成18年	1月号	特殊鋼のグローバル展開
	3月号	最近の伸線2次加工技術の動向

2. 各種特殊鋼統計の発行

特殊鋼統計月報を12回、特殊鋼輸出船積実績表を12回、ステンレス鋼板輸出実績表を12回、ステンレス鋼国際流通量を1回、特殊鋼輸出船積実績原表を1回発行した。特殊鋼の生産・流通・消費・輸出にわたる諸統計を掲載し、会員会社及び関連官庁、関連団体に配布した。

VI. 総 会

1. 第24回通常総会（平成17年5月27日）

正会員総数143社のうち定足数（2分の1以上72社）を満たし143社（うち委任状87社）出席のもと、下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：平成16年度事業報告書の件

第2号議案：平成16年度一般会計及び特別会計決算報告書の件

第3号議案：平成17年度事業計画の件

第4号議案：平成17年度一般会計及び特別会計収支予算書の件

第5号議案：平成17年度入会金及び会費・賦課金徴収方法の件

第6号議案：役員改選の件

2. 臨時総会

平成17年8月29日に臨時総会を開催し、理事・監事氏名変更を承認した。(16頁参照)

VII. 理 事 会

1. 第86回定例理事会(平成17年5月27日)

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

1) 第24回通常総会付議事項の同総会への上程

第1号議案：平成16年度事業報告書(案)の件

第2号議案：平成16年度一般会計及び特別会計決算報告書(案)の件

第3号議案：平成17年度事業計画(案)の件

第4号議案：平成17年度一般会計及び特別会計収支予算書(案)の件

第5号議案：平成17年度入会金及び会費・賦課金徴収方法(案)の件

第6号議案：役員改選(案)の件

2) 日立金属アドメット(株)(販売業者会員)の入会申込の件

3) 各種委員会委員長及び委員変更の件(2頁・4頁・10頁参照)

4) 平成17年5月～10月の会議開催日程の件

2. 臨時(三役選任)理事会(平成17年5月27日)

第24回通常総会第6号議案により選任された新理事の中から、下記の通り互選した。

会 長 小澤 正俊 理事(大同特殊鋼(株)代表取締役社長)

副 会 長 近藤 俊雄 理事(愛知製鋼(株)代表取締役副社長)

副 会 長 三上 聰彦 理事(ノボル鋼鉄(株)取締役社長)

副 会 長 武田 禪次 理事((株)メタルワン 専務執行役員)

専務理事 秋山 芳夫 理事((社)特殊鋼倶楽部事務局長)

3. 臨時理事会(平成17年8月29日)

理事・監事辞任に伴う新任理事・監事候補者として下記の通り承認した。

新任理事候補者 桐山 哲夫 氏(山陽特殊製鋼株式会社 常務取締役東京支社長)

同 辻 正博 氏(株式会社メタルワン特殊鋼 取締役社長)

新任監事候補者 江龍 祥行 氏(伊藤忠丸紅特殊鋼株式会社 代表取締役社長)

辞任理事 桑野 啓始 氏 (山陽特殊製鋼株式会社 顧問)
同 石村 博 氏 (旧アサヒスチール株式会社 取締役社長)
辞任監事 仲 晃生 氏 (伊藤忠丸紅特殊鋼株式会社 顧問)

4. 第87回定例理事会 (平成17年10月18日)

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

- 1) 平成18年新年賀詞交換会開催方法の件
- 2) 各種委員会委員長及び委員変更の件 (3頁・10頁参照)
- 3) 平成17年10月～平成18年5月の会議開催日程の件

5. 臨時理事会 (平成18年3月28日)

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

- 1) 平成18年度貿易一般保険包括保険 (鋼材) 特約の独立行政法人日本貿易保険との締結の件
- 2) 三京物産(株)(販売業者会員)の入会申込の件

VIII. 運 営 委 員 会

下記の通り委員会を1回、総務分科会を2回、財務分科会を2回開催し、当倶楽部の基本的な運営事項の立案にあたった。

なお、第86回定例理事会において、財務分科会長として藤田 昇氏(浅井産業(株)専務取締役)、第87回定例理事会において、総務分科会長として栄山博之氏(山陽特殊製鋼(株)軸受営業部長)が承認された。

1. 第30回総務・第27回財務合同分科会 (平成17年4月5日)

下記議案について審議し、両分科会案として第32回運営委員会に上程することとした。

- 1) 平成16年度事業報告書(案)の件
- 2) 平成16年度一般会計及び特別会計決算報告書(案)の件
- 3) 平成17年度事業計画書(案)の件
- 4) 平成17年度一般会計及び特別会計収支予算書(案)の件
- 5) 平成17年度入会金及び会費・賦課金徴収方法(案)の件
- 6) 役員改選(案)の件

②平成17年12月14日「メンタルヘルスケアで会社の危機を救う」

(三団体共催) (聴講者52名)

講師 株式会社セーフティネット 関 芳雄 氏

③平成18年2月16日「JFEスチールのフェライト系ステンレス鋼について」

(三団体共催) (聴講者95名)

講師 JFEスチール株式会社 石井和秀 氏

5) 説明会 ①平成17年6月24日「自動車部品の現地調達と輸出における特殊鋼の使用動向」

(聴講者71名)

講師 株式会社日鉄技術情報センター 市場調査部長 渡邊泰雄 氏

②平成17年9月30日「平成17年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」

(聴講者42名)

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 梅田英幸 氏

6) 見学会 ①平成17年11月11日・12日 (二団体共催) (参加者34名)

「日本高周波鋼業株式会社 富山製造所」

「株式会社不二越 東富山事業所 マテリアル事業部」

「株式会社不二越 富山事業所 (本社)」

②平成18年3月14日「本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所」(三団体共催)

(参加者52名)

7) ビジネスマン研修

①平成17年9月21日・26日「中堅社員研修」(二団体共催) (参加者42名)

テーマ 「営業とは何か」

講師 株式会社名南経営 村野文洋 氏

②平成17年12月2日・8日「管理職研修」(二団体共催) (参加者36名)

テーマ 「組織を活性化する管理職の育成」

講師 株式会社名南経営 村野文洋 氏

8) 女性および若手社員研修

平成18年2月7日(二団体共催) (参加者31名)

講義 「ビューティスマイルデザインング」セミナー

講師 ヴェレーネ講師 渡辺奈緒美 氏

9) 鋼種別分科会 (部会) 三地区意見交換会 (平成18年3月23日) (開催地: 東京)

3. 公開された主な報告書の情報提供

- ・経済産業省関連……平成16年度ものづくり白書、平成17年版通商白書ほか9項目
- ・環境省関連……平成17年版環境白書、平成17年版循環型社会白書
- ・厚生労働省関連……改正高年齢者雇用安定法の平成18年4月施行内容

4. 会員の異動

1) 入会

平成17年 4月 1日付 日立金属アドメット株式会社（販売業者会員）
（第86回定例理事会承認）

設立時及び過去5年の会員数の推移を示すと、次表の通り。

会 員 数 の 推 移

年 度	正 会 員		
	メーカー	販 売 業 者	合 計
創 立 時	31社	125社(41社)	156社
平成13年度末	30社	123社(46社)	153社
平成14年度末	30社	119社(45社)	149社
平成15年度末	29社	117社(45社)	146社
平成16年度末	29社	114社(44社)	143社
平成17年度末	29社	115社(44社)	144社

(注) カッコ内は地方会員で内数

5. 役員の変動

1) 平成17年5月31日 (第24回通常総会、臨時(三役選任)理事会)

(社名は50音順、敬称略)

役名	氏名	会社名	役職名
会長	小澤正俊	大同特殊鋼(株)	代表取締役社長
副会長	近藤俊雄	愛知製鋼(株)	代表取締役副社長
同	三上聰彦	ノボル鋼鉄(株)	取締役社長
同	武田禪次	(株)メタルワン	専務執行役員
専務理事	秋山芳夫	(社)特殊鋼倶楽部	事務局長
同	山口育廣	(株)神戸製鋼所	執行役員
同	桑野啓始	山陽特殊製鋼(株)	常務取締役東京支社長
同	弓場勉	JFEスチール(株)	常務執行役員
同	増田規一郎	新日本製鐵(株)	常務取締役
同	今野義信	(株)住友金属小倉	専務取締役
同	俣野一彦	大同特殊鋼(株)	常務取締役
同	鈴木英男	日新製鋼(株)	取締役副社長執行役員
同	松本忠範	日本金属工業(株)	常務取締役
同	笹本泰彦	日本高周波鋼業(株)	常務取締役条鋼本部長および営業部門総括
同	広岡憲徳	日本冶金工業(株)	常務取締役営業本部長
同	市橋健	日立金属(株)	事業役員特殊鋼カンパニープレジデント兼 安来工場長
同	大野信道	三菱製鋼(株)	取締役鋼材事業部長
同	青山利男	青山特殊鋼(株)	代表取締役社長
同	藤田昇	浅井産業(株)	専務取締役
同	石村博	アサヒスティール(株)	取締役社長
同	仲谷雅博	石原鋼鉄(株)	代表取締役社長
同	今西茂	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	取締役(兼)常務執行役員
同	井上豊治	井上特殊鋼(株)	代表取締役会長
同	小田保中	(株)U E X	代表取締役社長
同	中村幹也	岡谷鋼機(株)	代表取締役常務取締役東京本店長
同	池田謙二郎	三興鋼材(株)	代表取締役社長
同	中村淳一	JFE商事(株)	常務執行役員東部鉄鋼第一本部長
同	沼田治	住金物産(株)	常務執行役員
同	藤尾裕章	住友商事(株)	理事鉄鋼第三本部長
同	木村健始	大洋商事(株)	代表取締役社長
同	竹内誠二	(株)竹内ハガネ商行	代表取締役社長
同	田島清	(株)テクノタジマ	代表取締役会長
同	有馬伸正	中川特殊鋼(株)	執行役員
同	湊義明	野村鋼機(株)	代表取締役社長
同	平井良平	(株)平井	代表取締役社長
同	渡邊清孝	三井物産(株)	執行役員鉄鋼製品本部長
監事	増田正生	日本金属(株)	常務取締役
同	仲晃	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)	代表取締役社長
同	根来龍之	早稲田大学	商学部教授

2) 平成17年8月29日(臨時總會選任)

新任理事 桐山 哲夫 氏 (山陽特殊製鋼株式会社 常務取締役東京支社長)

同 辻 正博 氏 (株式会社メタルワン特殊鋼 取締役社長)

新任監事 江龍 祥行 氏 (伊藤忠丸紅特殊鋼株式会社 代表取締役社長)

辞任理事 桑野 啓始 氏 (山陽特殊製鋼株式会社 顧問)

同 石村 博 氏 (旧アサヒスチール株式会社 取締役社長)

辞任監事 仲 晃生 氏 (伊藤忠丸紅特殊鋼株式会社 顧問)

本年度末現在の役員名は、次表の通り。

役 員 名 簿

(社名は50音順、敬称略)

(平成18年3月31日現在)

役 名	氏 名	会 社 名	役 職 名
会 長	小 澤 正 俊	大 同 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 社 長
副 会 長	近 藤 俊 雄	愛 知 製 鋼 (株)	代 表 取 締 役 副 社 長
同	三 上 聰 彦	ノ ボ ル 鋼 鉄 (株)	取 締 役 社 長 員
同	武 田 禪 次	(株)メタルワン	専 務 執 行 役 員
専務理事	秋 山 芳 夫	(社)特殊鋼倶楽部	事 務 局 長 員
理 事	山 口 育 廣	(株)神 戸 製 鋼 所	執 行 役 員
同	桐 山 哲 夫	山陽特殊製鋼(株)	常 務 取 締 役 東 京 支 社 長
同	弓 場 勉	J F E ス チ ール (株)	常 務 執 行 役 員
同	増 田 規 一 郎	新 日 本 製 鐵 (株)	常 務 取 締 役
同	今 野 義 信	(株)住友金属小倉	専 務 取 締 役
同	俣 野 一 彦	大 同 特 殊 鋼 (株)	常 務 取 締 役 鋼 材 事 業 部 長
同	鈴 木 英 男	日 新 製 鋼 (株)	取 締 役 副 社 長 執 行 役 員
同	松 本 忠 範	日 本 金 属 工 業 (株)	常 務 取 締 役
同	笹 本 泰 彦	日 本 高 周 波 鋼 業 (株)	常 務 取 締 役 条 鋼 本 部 長 お よ び 営 業 部 門 総 括
同	広 岡 憲 億	日 本 冶 金 工 業 (株)	常 務 取 締 役 営 業 本 部 長
同	市 橋 健	日 立 金 属 (株)	事 業 役 員 特 殊 鋼 カ ン パ ニ ー プ レ ジ デ ント
同	大 野 信 道	三 菱 製 鋼 (株)	取 締 役 鋼 材 事 業 部 長
同	青 山 利 男	青 山 特 殊 鋼 (株)	取 締 役 社 長
同	藤 田 昇	浅 井 産 業 (株)	取 締 役 社 長
同	仲 谷 雅 博	石 原 鋼 鉄 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	今 西 茂	伊 藤 忠 丸 紅 鉄 鋼 (株)	取 締 役 常 務 執 行 役 員
同	井 上 豊 治	井 上 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 会 長
同	小 田 保 中	(株)U E X	名 誉 会 長
同	中 村 幹 也	岡 谷 鋼 機 (株)	代 表 取 締 役 常 務 取 締 役 東 京 本 店 長
同	池 田 謙 二 郎	三 興 鋼 材 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	中 村 淳 一	J F E 商 事 (株)	常 務 執 行 役 員 東 部 鉄 鋼 第 一 本 部 長
同	沼 田 治	住 金 物 産 (株)	常 務 執 行 役 員
同	藤 尾 裕 章	住 友 商 事 (株)	理 事 鉄 鋼 第 三 本 部 長
同	木 村 健 始	大 洋 商 事 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	竹 内 誠 二	(株)竹内ハガネ商行	代 表 取 締 役 社 長
同	田 島 清	(株)テクノタジマ	代 表 取 締 役 会 長
同	有 馬 伸 正	中 川 特 殊 鋼 (株)	鉄 鋼 事 業 部 執 行 役 員 副 事 業 部 長
同	湊 義 明	野 村 鋼 機 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	平 井 良 平	(株)平 井	代 表 取 締 役 会 長
同	渡 邊 清 孝	三 井 物 産 (株)	執 行 役 員 鉄 鋼 製 品 本 部 長
同	辻 正 博	(株)メタルワン特殊鋼	取 締 役 社 長
監 事	増 田 正	日 本 金 属 (株)	常 務 取 締 役
同	江 龍 祥 行	伊 藤 忠 丸 紅 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	根 来 龍 之	早 稲 田 大 学	商 学 部 教 授

XII. 内外関係機関に対する協力活動

1. 経済産業省より大量破壊兵器等の拡散防止の推進に関する更なる法令順守及び輸出管理体制の整備について、「安全保障貿易に係る輸出管理の厳正な実施について」の協力要請があり、会員に周知徹底を図った。
2. 経済産業省より同省が実施している各種統計調査に関して、調査票の提出協力についての広報協力依頼があり、会員への広報活動を通じてPRに協力した。
3. 経済産業省より企業活動基本調査の広報協力依頼があり、会員への広報活動を通じてPRに協力した。
4. 経済産業省より工業統計調査及び石油等消費構造統計調査の広報協力依頼があり、会員への広報活動を通じてPRに協力した。
5. 経済産業省より依然厳しい対応に迫られている「下請事業者への配慮について」の協力要請があり、会員に周知徹底を図った。
6. 経済産業省より同省が実施した「家庭用品に係る石綿含有の実態調査」の結果、現在も石綿を含有する家庭用品の製造等が行われていることが判明し、石綿材料の代替化、消費者対応の徹底の対応協力依頼があり、当倶楽部では会員への広報活動を通じて協力した。
7. 経済産業省よりアスベスト含有製品を部品として用いた製品の輸入を規制するため、外国為替及び外国貿易法に基づく告示（輸入公表）を改正したことについて周知徹底の協力依頼があり、当倶楽部では会員への広報活動を通じて協力した。
8. 経済産業省より厚生労働省からの「石綿による健康障害防止対策への適切な対応」に関する依頼について周知徹底の協力依頼があり、当倶楽部では会員への広報活動を通じて協力した。
9. 経済産業省・資源エネルギー庁より京都議定書の発効等を踏まえ、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」が改正され、平成18年4月1日に施行されることについての広報協力依頼があり、会員への広報活動を通じてPRに協力した。

- 1 0. 経済産業省・特許庁より特許審査請求件数の増加に対処して、知的財産推進計画に定められた中・長期目標の達成を確実にするための「特許審査迅速化・効率化のための行動計画」を策定した旨の周知について協力依頼があり、会員への広報活動を通じてPRに協力した。
- 1 1. 公正取引委員会・中小企業庁より毎年11月を「下請取引適正化推進月間」と定め、これに関する講習会を開催するための広報等について協力依頼があり、会員への広報活動を通じてPRに協力した。
- 1 2. 厚生労働省より石綿を1%を超えて含有する建材、摩擦材及び接着剤について、労働安全衛生法第55条の規定に基づき、製造、輸入、譲渡、提供又は使用が禁止されていることの法令遵守の周知徹底について協力依頼があり、当倶楽部では会員への広報活動を通じて協力した。
- 1 3. 厚生労働省より現在、製造等が禁止されていない石綿含有製品の早期の代替品への転換を進め、石綿の使用等の全面禁止が行えるよう検討していることから、自らが率先して直ちに代替化を図り、無石綿の製品にするようについて周知徹底の協力依頼があり、当倶楽部では会員への広報活動を通じて協力した。
- 1 4. 厚生労働省より石綿作業従事者に対する健康診断の確実な実施と労働基準監督署への報告、石綿障害予防規則に基づく各種措置の確実な実施について周知徹底の協力依頼があり、当倶楽部では会員への広報活動を通じてPRに協力した。
- 1 5. 社団法人日本鉄鋼協会より平成18年6月に開催される「第188・189回西山記念技術講座『特殊鋼棒線の最近の進歩』」の協賛要請があり、当倶楽部では承諾した。